

国際貿易救済セミナー

アンチダンピング（AD）・相殺関税（CVD）の 効果的な活用に向けて

日時：2018年11月14日（水）13:00～15:45（開場12:30）

会場：TKP 赤坂駅カンファレンスセンター ホール13A（赤坂駅5a出口直結）

東京都港区赤坂2丁目14-27 国際新赤坂ビル 東館 13F TEL：03-5572-7811

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-akasaka/access/>

開催言語：日本語、英語（同時通訳あり）

近年、過剰設備を背景とした不当な安値輸出等が増加する中で、公正な競争環境の回復に向けたアンチダンピング（AD）、相殺関税（CVD）の活用が世界的に増えています。

本セミナーでは、我が国に加え、WTO 事務局、EU、ブラジルの政府、法曹界、産業界から講演者及びパネリストを招き、AD、CVD の最近の動向、活用の円滑化に向けた取組や適時の措置活用の有効性について、具体的な発動事例を交えつつ議論します。

議事次第

13:00-13:10 開会挨拶

経済産業省

13:10-13:30 セッション1：AD・CVDの概要

<スピーカー> Mr. Jesse Kreier（WTO ルール部部長代理）

13:30-13:50 セッション2：日本における貿易救済措置の活用動向と政策的取組

<スピーカー> 寺西規子（経済産業省貿易経済協力局貿易管理部特殊関税等調査室長）

13:50-14:30 セッション3：諸外国におけるAD・CVDの活用動向と政策的取組

プレゼンテーション1

<スピーカー> Mr. Wolfgang Mueller（欧州委員会貿易総局 H 局課長）

プレゼンテーション2

<スピーカー> Mr. Adriano Macedo Ramos（ブラジル商工サービス省貿易救済部ディレクター）

14:30-14:45 休憩

<テーマ> AD・CVDの効果的な活用に向けて

<モデレーター／パネリスト> 川瀬剛志（上智大学法学部 教授）

<パネリスト>

- ・ 寺西規子（経済産業省貿易経済協力局貿易管理部特殊関税等調査室長）
- ・ 藤井康次郎（西村あさひ法律事務所 弁護士）
- ・ 鍵山博哉（日本化学繊維協会 業務調査グループ 主幹）
- ・ Mr.Walter Spak（ホワイト&ケース 米国弁護士）

お申し込み

11月12日（月）17:00までに、下記URL（申し込みフォーム）よりお申込みください。

お申込みフォームのURL：

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/tokusyukanzei/20181114_seminar

ネットワーク環境等により、WEB経由でお申込みができない場合は、

下記の事項をご記入の上、メールにてお申込み下さい。

申込先：meti_trade_remedy2018seminar@meti.go.jp

1. お名前
2. ご所属団体（業界団体・企業）
3. ご所属・役職名
4. お電話番号
5. メールアドレス（ご本人が申込みの場合は記入不要）

（ご参考）最新のADニュースレター：

http://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/boekikanri/download/trade-remedy/20181015_newsletter.pdf